



アクテノン

NO. 60

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■「勘」「観」「感」

山田 昌 (女優)



'08年7月26日
愛知県勤労会館にて

下段写真撮影
中日新聞記者 三田村 泰和

数字に弱い俳優はめずらしくはないと思いますが、特に私には「それは何年頃ですか」という質問はしないと約束して下さい。

とにかく我が劇座が出来る数年前から元「地人会」の木村光一先生とは御縁がありました。木村演出作品で、文字通り「目からウロコ」を何度も実感し、今日まで育てて頂きました。例えば…… 例えて言う事が出来ないダメ出しなので同じ場所に居合せても感じない人には何も聞いていないのです。関係ない様な雑談の中に、ハッとするヒントがある事に驚いたものです。

一度「どんどん川上に向かって逃げました」と言う所を「この、どんどんはどこまでも続くどんどんです」とダメが出ました。どう変えたらいいでしょう。私はイメージしました。そして思わず一つ余分に「どんどん」と言ってしまう。すぐ、お詫びしました。先生はかすかに微笑んで頷いて下さいました。私の思いが伝わったのでしょうか。とても声の小さい方なので、他人に出すダメは先生にすり寄って盗み聞きしたものです。自分の出番のない日は稽古に来ない人が一番愚かです。

その、先生が名古屋まで来て演出して下さいしたのは水上勉作「飢餓海峡」でした。稽古はアクテノンでした。何としても出たい！だが稽古の1ヶ月間は、中日劇場で植木等さんと名古屋名物になっていた「嫁入り物語」に出演中でした。何としても諦めきれず不可能を可能にしました。中日劇場夜の

部がはねてからアクテノンに駆けつけ、恐山のイタコの役をもらい、とてもいい役にして頂きました。予想通り楽しい稽古でした。

それから6、7年後でしょうか「地人会」が解散してしまいました。あまりにも突然の事でした。23年間続けて来た朗読劇「この子たちの夏」は地人会の木村先生の名作です。私は初演から出て来ました。24年目の準備に入ってから解散で、公演地も決ってからのすべての禁止で、これ程困った事はありませんでした。数字に弱い女優が18人集まって、ささやかなお金を出しあい、赤字は全員でもつ覚悟で「夏の会」を立ち上げました。台本も、チラシも、演出も、ギリギリに間に合い24年目は数字の弱い女優の必死さと皆様方のカンパで切りぬけました。

嬉しい事に来年の注文も来ている状態です。が、地方出身の女優は私だけです。電話連絡も、稽古もお金がかかります。その上マイク無しの朗読は、年令的にも、体力的にも引き時刻かと密かにバトンタッチを考えました。その時、どこの誰だかが「あと二年ガンバレ」と言ってくれました。この一言と、此の度演出を引き受けて下さった戦争を知らない若い女性演出家から「すごく良かった。さすが。名古屋のパワーはすごい！」の手紙が届きました。私の心が又、変わりました。「あと二年」私の80才です。数字に弱い私もハッキリわかる80です。

生きていたいと思います。

何かの役にたつて。

トピックス

■「子ども演劇教室で“教えられた”こと。」

はせ ひろいち (劇作家、演出家、劇団ジャブジャブサーキット代表)



子ども演劇教室
お芝居を「楽しみまくる」4日間！
'08年8月21日～24日 アクテノンリハーサル室にて

最初から予測はありました。相手は何といっても小学生。「自己主張好きな若者」や「何かを吸収したい演劇人」や「単位取得が最優先の大人しい学生達」ではなく、ただの小学生ですからね。こちらに権威が存在しないから、脅しが効かず、ごまかしも利きません。少しでも僕が「優れた講師であろう」とか「指導の成果を強調しよう」と思ったら、とたんにそっぽを向くでしょう。だって彼らは「無敵の小学生」なんだから。

そしてポイントは、ココが「教室」ではあっても「学校」ではないこと。今が夏休みであること。この辺りを念頭に、プログラムを考えはじめ、すぐさま放棄しました。どうせ計画通りに進むはずがない。かわりに以下の自戒を作りました。

- ①絶対に怒らない。声を荒げない。
- ②子供扱いしない。あくまで人権を尊重する。
- ③発表会はするけど、完成度は問わない。

コレを守りながらの4日間。これだけ事前に予測

したのに、やはり生身の奴らは、それを超えて元気で煩わしくて圧倒的でした。エチュードやインプロ課題を次々と、実に自然にこなします。「演じなくちゃ」という意識がない表現、その美しさと力強さ。こっちが勉強させられます。そして、極めつけは「休憩中のパワー」です。集中して疲れるだろうと、早めに休憩を入れるのですが、その短い時間を惜しむかのようにリハーサル室を所狭しと走り回っています。僕たちは集中のためにパワーを温存しますが、子供たちは集中のために、逆にパワーを発散するようです。

小学生だからこそ、教えてはいけない。特に演劇は。ただただ魅力的な題材を用意して、それを体験させてあげれば良い。そもそも演劇自体に「学ぶべき何か」は内在しているのだから。

いやあ、自分で教室を開きながら、こんなに多くを学んでしまいました。これでボクの夏休みの体験日記を終わります。(合掌)

アクテノン・シャワー

■ アクテノン シニア演劇部発表会「歌うシンデレラ」

作:別役 実 演出:佃 典彦

6月から始まったシニア(50代~60代)のための演劇教室「アクテノン シニア演劇部」発表会が開催されます。現代劇の役者体験は、ほぼ初めての受講生たちが、名古屋を代表する劇団B級遊撃隊の佃 典彦氏の演出で、別役 実氏の作品に挑戦します。7か月間毎週練習した受講生たちの成果を、是非、客席から応援してください。



アクテノン
シニア演劇部の皆さん

日 時: 12月12日(金) 19:00開演
13日(土) 14:00開演
会 場: 名古屋市中村文化小劇場
(中村公園文化プラザ3階)
入 場 料: 800円(日時指定全自由席)
お問い合わせ: 名古屋演劇練習館 アクテノン
TEL 052-413-6631
FAX 052-413-6632

■ 舞台照明のワークショップを開催します。

毎年ご好評をいただいている、舞台照明のワークショップを今年度も実施いたします。なかなか勉強することができない「舞台照明」について、実際に触りながら学ぶことができます。また、実践での安全管理や舞台でのテクニックなど、あなたの質問にもお答えします。皆様のご参加をお待ちしています。

開 催 日: 平成21年3月7日(土)~8日(日)
講 師: 村瀬 満佐夫(劇団翔航群)
受 講 料: 2,000円
受付開始日: 平成21年1月30日(金)から受付。
※なお、定員になり次第締め切らせていただきます。
お問い合わせは、演劇練習館(TEL)052-413-6631まで。

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

演劇 アルクシアター



アルクシアターは作曲家、劇作家、演出家である弥富又八を中心にした、オリジナルのミュージカルや音楽劇を行う集団です。振り付け師は元OSK歌劇団の志乃舞優、歌唱指導には山口沙織というメンバーが揃い、常にユニークで格好いいステージ作りを目指しています。2008年10月、アルクシアターは劇団になりました。ダンス、歌、演技etc.の日常的なレッスンにより、さらにレベルの高い作品を作るためです。役者(オーディション有り)スタッフ希望の方はメールでお問い合わせください。

アクテノンに一言 アルク発足当時からお世話になっています。大人数でのダンスや歌を行う私達には欠かせない練習スペースです。

⑥ S.P.A.M69/愛知県芸術劇場小ホール('06) 君の音が聞こえる/名古屋市東文化小劇場他('05~'08) 鬼 鬼-MONONOKE-/愛知県芸術劇場小ホール('08)

④ 弥富 又八
☎0567-67-5174((株)アルク)
<http://www.alk-walk.com/theater/>
E-mail:stage@alk-walk.com

演劇 劇団 Smile BaKation (スマイルバケーション)



熱いだけじゃどうしようもない事はたくさんある、そんな事は百も承知。それでも、とにかく熱く、必死に前へ進む！てっぺん目指して……

とりあえず旗揚げ一年目は年間五本の公演をうつことに決め、今三本目が終わった所です。まだまだ未熟で荒削りな自分らですが、熱い想いで突っ走ります！皆様のご来場、心よりお待ちしております。

アクテノンに一言 いつも利用させていただき誠にありがとうございます。自分らにできる恩返しは、とにかくいいものをつくる事だと思っています。これからもよろしくお願いたします。

①2008年 ②15名
⑥ トマト色の太陽の下で/愛知県芸術劇場小ホール('08) 熱血! 鬼丸愚連隊参上!/プレイハウス ネオ('08) 桃色の桃、低く跳べ/theaterMOON('08)

④ 渡辺 一正
☎090-1722-3944
E-mail:Smile-BaKation@softbank.ne.jp

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

演劇襲団海賊船Ⅱ 『乱波Ⅱ』 ~真田幸村疾風怒濤の巻~	① ちくさ座(名古屋市中村文化小劇場) ② 12月6日(土) 2:00 7:00、7日(日) 1:00 5:00 ③ 前売1,800円(当日2,000円) ④ ☎080-1601-0500(劇団) 戦乱の世を駆け抜けた者達の、生き様を描く物語。
さむたいむユニット@いちご一会 番外公演 ~1/2~ 『resonance』	① 翔UPファクトリー(地下鉄桜通線中村区役所駅4番出口南へ徒歩3分) ② 12月13日(土) 3:00 7:00、14日(日) 1:00 5:00 ③ 前売1,000円(当日1,500円) ④ ☎090-8551-6767 Eメール:ichigoichie_half@yahoo.co.jp 新たないちご一会式ショートストーリーオムニバスをお楽しみ下さい。
少年王者館 番外公演 『ライトフレア』	① 七ツ寺共同スタジオ ② 1月22日(木) 23日(金) 7:30、24日(土) 25日(日) 2:30 7:30、26日(月) 2:30 ③ 前売・予約3,000円(当日3,300円) ④ 090-4213-5884 http://www.oujkan.jp/ 名古屋だけの特別豪華企画公演 光とミジンコの御伽話とカタコトの国の宮廷ダンス。
NAGOYAダイヤモンド公演 『消しゴム』 作:佃 典彦 演出:小熊ヒデジ	① theaterMOON(地下鉄東山線池下駅1番出口徒歩1分) ② 1月24日(土) 3:00 7:00、25日(日) 2:00 ③ 前売一般1,600円(当日1,800円) 大学生1,300円 高校生以下800円 ④ 名古屋演劇教室 ☎090-6091-3415 名古屋演劇教室主催・初心者への為の演劇ワークショップ参加者による公演です。



編集発行/平成20年11月25日(年4回)
 (財)名古屋市中村区文化振興事業団 名古屋演劇練習館(アクテノン)
 〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47
 TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632
 ※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

